

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム華はびきの

目標達成計画

作成日: 平成 22年 6月 17日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 35 | 災害対策として、年2回の消防署職員立会いのもと、消防訓練(避難誘導・通報・消火訓練)を実施しているが、夜間を想定した避難訓練と災害時における地域との連携。 | 夜間を想定した避難訓練及び、地域住民参加の避難訓練の実施。また、災害時における地域との連携についての取り決めに地域住民と取り交わす。 | 地域住民参加のもと避難訓練を実施。また、夜間を想定した避難訓練に関しては、まず日中に、夜間帯の職員配置人数のみでの避難誘導・通報訓練を実施する。 | 6ヶ月 |
| 2 | 49 | 外出の機会は設けているものの、日常的に外出が出来ているとは言い難い。 | 日常的に屋外へ出て、外気に触れ開放感を味わっていただく。 | 施設駐車場に憩いのスペースを確保し、数名のグループをつくり、日常的に外気浴が出来るよう安全な体制を整える。 | 3ヶ月 |
| 3 | 52 | 職員が頻回にフロアを出入りすると、入居者が落ち着かないのではないか。 | 職員は常に、リビングや居室といった空間を意識し、入居者に与える影響を最小限にするよう心掛ける。 | 事業所全体に向けて、フロアは生活空間である事を周知する。 | 3ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |